

FDG-PET・PET/CT をご依頼くださる医療機関の先生へのご案内

◆注意事項

1. 保険適用のご確認

^{18}F -FDG（放射性フッ素標識ブドウ糖）を用いた PET・PET/CT は高度の画像診断法で、検査の保険適用は特定疾患の精査目的に厳しく制限されており、疾患や目的によっては検査費用が自費となります。この点についてご理解、ご説明の程よろしくをお願いいたします。特に悪性腫瘍の疑いや早期胃がんでは保険適用されませんのでご注意ください。

FDG-PET 保険適用要件（2020 年 4 月現在：PET は 1 ～ 4、PET/CT は 1、3、4 が保険適用）

1. 悪性腫瘍	他の検査又は画像診断により病期診断又は転移若しくは再発の診断が確定できない患者に使用する。 (早期胃癌を除き悪性リンパ腫を含む)
2. 心疾患	虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断（他の検査で判断のつかない場合に限る。）、心サルコイドーシスの診断（心臓以外で類上皮細胞肉芽腫が陽性でサルコイドーシスと診断され、かつ心臓病変を疑う心電図又は心エコーの所見を認める場合に限る）または心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者に使用する。
3. てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する。
4. 血管炎	高安動脈炎等の大型血管炎において、他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない患者に使用する。

- ・ 同一月での PET 検査とガリウムシンチの保険請求は出来ません。
- ・ 他施設に入院中の患者様は、当該施設（医療機関）様へのご請求（自費診療額）となります。

2. 患者様に関する注意事項

- ・ 検査前 5 時間（心臓の検査は 12 時間）以降の食事、糖分摂取、およびブドウ糖の入った点滴は中止してください。
水やお茶の摂取は問題ありません。
検査当日は糖分の入っていない水分は積極的に取っていただきます（FDG の尿中排泄を促すため）。
- ・ 検査前 1 週間程の激しい運動は控えていただきます。
- ・ 糖尿病の治療中で、空腹時血糖値が 200mg/dl 以上ある患者様は原則として検査はできません。
また検査当日はインスリン、経口糖尿病薬などの治療薬を使用しないよう御指示ください（絶食に伴う高度の低血糖をさけるため）。
- ・ 同日の他の検査や診察はなるべく避けてください。
- ・ 検査はトータルで 3-4 時間を要し、そのうち撮影時間は途中の 30 分程度です。撮影の間、体動抑制が困難な方は原則として検査できません。
- ・ 妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は検査できません。

3. FDG-PET・PET/CT の被ばくと検査の限界について

放射線被ばくは CT もあわせて 15mSv 程度以下で、心臓の CT 検査などと同じレベルです。

FDG-PET・PET/CT では症状の出る前のがんが発見できることが知られていますが、すべてのがんにも有効というわけではありません。特に腎臓、膀胱は健常でも薬剤が尿中に排泄されるため、判断が難しい場合があります。肝臓、胃、前立腺は超音波検査や内視鏡検査の方が有効な場合があります。また、薬剤が活動性の炎症にも集まるため、がんとならわしいことがあります。1cm 以下のがんや、ブドウ糖の取り込みが少ないがんなどでも評価できないことがあります。